

栄養改善に関する国際的な目標について

	最終年	目標の内容
① <a href="#">WHO/Global Nutrition Targets</a> (世界栄養目標)	2030年	2030年までに以下の達成を目指す(第78回世界保健総会で Global Nutrition Target 2025 の延長を決定) 目標1(発育阻害): 5歳未満の子供の発育阻害 40%減。 目標2(貧血): 女性の貧血 50%減。 目標3(低体重): 出生時低体重を 30%減。 目標4(子供の過体重): 小児の過体重を 5%未満に減らし、維持 目標5(母乳育児): 生後6カ月以内の完全母乳育児 60%まで引上げ 目標6(消耗症): 小児期の消耗を 5%未満に削減し、維持
② <a href="#">WHA Global Monitoring Framework on NCDs</a>	2030年	目標1 肥満と糖尿病の増加阻止 目標2 塩分摂取量を 30%減少させる 目標3 高血圧の 25%減少
③ <a href="#">国連総会 (UN) 持続可能な開発目標 (SDGs)</a>	2030年	目標2について 2030年までに、飢餓とあらゆる形態の栄養不良に終止符を打ち、持続可能な食料生産を達成することをねらいとしている。 <b>2.1</b> : 2030年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層や乳幼児を含む脆弱な状況にある人々が、一年中、安全で栄養価が高く、十分な食料にアクセスできるようにする。 <b>2.2</b> : 2030年までに、5歳未満の子どもの発育阻害及び消耗症に関する国際的に合意された目標の達成を含め、あらゆる形態の栄養不良を撲滅し、思春期の女子、妊娠中及び授乳中の女性及び高齢者の栄養ニーズに対処する。
④ <a href="#">UN Decade of Action on Nutrition</a> (国連栄養のための10年)	2030年	国連加盟国が、あらゆる形態の栄養不良を撲滅し、すべての国で栄養不良を撲滅するための政策、プログラム、投資拡大を持続的かつ首尾一貫して実施し、誰一人取り残さないというコミットメントである。2016-2025年までの予定を延長し、世界、地域、国レベルで、2030年までにあらゆる形態の栄養不良をなくすという政治的方向性を維持することになり、目標を持続可能な開発目標 (SDGs) と一致させている。

①～④は外部リンクに移動できるように設定しています。